

## 財団の目的と事業・研究の領域

三菱グループにより設立された当財団は、調査・研究活動を通じて高齢社会の保健、医療、福祉等の課題解決をめざし、公益に寄与しています。



公益目的事業

### 主な研究・調査活動 (2023年度)

#### 〔ダイヤ財団主管研究〕

- 科学的介護のための介護事業所向けの研修ツールの開発
- 高齢者福祉施設職員の防災・減災意識の向上に関する研究
- 家族介護者の心身の健康状態と支援方策の検討
- シルバー人材センターにおける安全就業対策の充実度評価および事故防止効果に関する共同研究事業
- 従業員の主観的 Well-being を向上する介入プログラムの検討
- 後期高齢者のプロダクティブ・アクティビティと健康に関する研究
- 都市高齢者の社会関係周縁部に関する研究
- 高齢期の社会的自立維持に ICT の果たす役割に関する研究
- ゆるやかなソーシャルキャピタルを醸成する介護予防事業の構築・継続要因に関する研究
- 超高齢社会におけるライフプランニングに関する調査

### 主な普及・広報活動

講演会・シンポジウム  
等イベント開催

研究論文・研究報告書・  
学会発表

機関誌『Dia News』・  
調査報告書等の発行

社会老年学文献データ  
ベース「DiaL」の提供

うつ予防プログラム  
「ハッピープログラム」

シニアが楽しむエアロ  
ビック「ダイヤビック」

収益事業等

調査研究を通じて得られた知見、技術等を活用して行う受託事業及び高齢社会の諸問題に関するテキスト、教材等の有償頒布等

賛助会員関連団体が行う高齢者による社会貢献活動に対する協力及び支援